

ミカ1: ミカ書 第1章

ミカ1:1 ユダの王ヨタム、アハズおよびヒゼキヤの世に、モレシテびとミカが、サマリヤとエルサレムについて示された主の言葉。

ミカ1:2 あなたがたすべての民よ、聞け。地とその中に満てる者よ、耳を傾けよ。主なる神はあなたがたにむかって証言し、主はその聖なる宮から証言される。

ミカ1:3 見よ、しゅはそこのご座所から出てこられ、下ってきて地の高い所を踏まれる。

ミカ1:4 山は彼の下に溶け、谷は裂け、火の前のろうのごとく、坂に流れる水のように。

ミカ1:5 これはみなヤコブのところがゆえ、イスラエルの家の罪のゆえである。ヤコブのところがとは何か、サマリヤではないか。ユダの家の罪とは何か、エルサレムではないか。

ミカ1:6 このゆえにわたしはサマリヤを野の石塚となし、ぶどうを植える戸KROとなし、またその石を谷に投げ落としその基をあらわにする。

ミカ1:7 その彫刻はみな砕かれ、その獲た価はみな火で焼かれる。わたしはその偶像をことごとくこわす。これは遊女の価から集めたのだから、遊女の価に帰る。

ミカ1:8 わたしはこれがために嘆き悲しみ、はだしと裸で歩きまわり、山犬のように嘆き、だちょうのように悲しみ鳴く。

ミカ1:9 サマリヤの傷はいやすことのできないもので、ユダまでひろがり、わが民の門、エルサレムまで及んでいる。

ミカ1:10 ガテに告げるな、泣き叫ぶな。ベテレアフラで、ちりの中にくろがれ、

ミカ1:11 サビルに住む者よ、裸になり、恥をこうむって進み行け。ザアナンに住む者は出てこない。ベテエゼルの嘆きはあなたがたからその後を断つ。

ミカ1:12 マロテに住む者は気づかわしうに幸を待つ。災が主から出て、エルサレムの門に臨んだからである。

ミカ1:13 ラキシに住む者よ、戦車に早馬をつなげ。ラキシはシオンの娘にとって罪の初めであった。イスラエルのとがが、あなたがたのうちに見られたからである。

ミカ1:14 それゆえ、あなたはモレセテ・ガテに分かれの贈り物を与える。アクジブの家々はイスラエルの王たちにとって、人を欺くものとなる。

ミカ1:15 マレシヤに住む者よ、わたしはまた侵略者をあなたの所に連れて行く。イスラエルの栄光はアドラムに去るであろう。

ミカ1:16 あなたの喜ぶ子らのために、あなたの髪をそり落せ。そのそった所をはげたかのように大きくせよ。彼らは捕らえられてあなたを離れるからである。

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ2: ミカ書 第2章

ミカ2:1 その床の上で不義を計り、悪を行う者はわざわいである。彼らはその手に力あるゆえ、YRUが開けるとこれを行う。

ミカ2:2 彼らは田畑をさぼってこれを奪い、家をむさぼってこれを取る。彼らは人Wしえたげてその家を奪い、人をしえたげてその嗣業を奪う。

ミカ2:3 それゆえ、主はこう言われる、見よ、わたしはこのやからにむかって災を下そうと計る。あなたがたはその首をこれから、はずすことはできない。また、まっすぐに立って歩くことはできない。これは災の時だからである。

ミカ2:4 その火、人々は歌を造ってあなたがたをのしり、悲しみの歌をもって嘆き悲しみ、“われわれはことごとく滅ぼされる、わが民の分は人に与えられる。どうしてこれはわたしから離れるのであろう。われわれの田畑はわれわれを捕らえた者の間に分け与えられる”と言う。

ミカ2:5 それゆえ、主の会衆のうちにはくじによって測りなわを張る者はひとりもなくなる。

ミカ2:6 彼らは言う、“あなたがたは説教してはならない。そのような事について説教してはならない。そうすればわれわれは恥をこうむることがない”と。

ミカ2:7 ヤコブの家よ、そんなことは言えるのだろうか。主の気短中田であろうか。これらは主のみわざなのであろうか。わが言葉は正しく歩む者に、益とならないのであろうか。

ミカ2:8 ところが、あなたがたは立ってわが民の敵となり、いくさのことを知らずに、安らかに過ぎゆく者から、平和な者から、上着をはぎ取り、

ミカ2:9 わが民の女たちをその楽しい家から追い出し、その子どもから、わが栄えをとこしえに奪う。

ミカ2:10 立って去れ、これはあなたがたの休み場所ではない。これは汚れのゆえに滅びる。その滅びは悲惨な滅

びだ。

ミカ2:11 もし人が風に歩み、偽りを言い、“わたしはぶどう裂けと濃き酒とについて、あなたに説教しよう”と言うならば、その人はこの民の説教者となるであろう。

ミカ2:12 ヤコブよ、わたしは必ずあなたをことごとく集め、イスラエルの残れる者を集める。わたしはこれをおりの羊のように、牧場の中のように共におく。これは人の大城によって騒がしくなる。

ミカ2:13 打ち破る者は彼らに先だって登りゆき、彼らは門を打ち破り、これをとって外に出て行く。彼らの王はその前に進み、主はその先頭に立たれる。

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ3: ミカ書 第3章

ミカ3:1 わたしは行った、ヤコブかしらたちよ、イスラエルの言えのつかさたちよ、聞け、公義はあなたがたの知っておるべきことではないか。

ミカ3:2 あなたがたは善を憎み、悪を愛し、わが民の身から川をはぎ、その骨から肉をそぎ、

ミカ3:3 またわが民の肉を食らい、その皮をはぎ、その骨を砕き、これを切りきざんで、なべに入れる食物のようにし、大なべに入れる肉のようにする。

ミカ3:4 こうして彼らが主に呼ばわっても、主はお答えにならない。かえってその時には、み顔を彼らに隠される。彼らのおこないが悪いからである。

ミカ3:5 わが民を惑わす預言者について主はこう言われる、彼らは食べ物のある時には、“平安”を叫ぶけれども、その口に何も与えない者にむかつては、宣戦を布告する。

ミカ3:6 それゆえ、あなたがたには夜があっても幻がなく、暗やみがあっても占いが無い。太陽はその預言者たちに没し、昼も彼らの上に暗くなる。

ミカ3:7 先見者は恥をかき、占い師は顔をあからめ、彼らは皆そのくちびるをおおう。神の答がないからである。

ミカ3:8 しかしわたしは主のみたまによって力に満ち、公義と勇気とに満たされ、ヤコブにそのとがを示し、イスラエルにその罪を示すことができる。

ミカ3:9 ヤコブの言えのかしらたち、イスラエルの言えのつかさたちよ、すなわち公義を憎み、すべての正しい事を曲げる者よ、これを聞け。

ミカ3:10 あなたがたは血をもってシオンを建て、不義をもってエルサレムを建てた。

ミカ3:11 そのかしらたちは、まいないをとってさばき、その祭司たちは価をとって教え、その預言者たちは金をとって占う。しかもなお彼らは主に寄り頼んで、“主はわれわれのなかにおられるではないか、だから災はわれわれに臨むことがない”と言う。

ミカ3:12 それゆえ、シオンはあなたがたのゆえに田畑となって耕され、エルサレムは石塚となり、宮の山は木のおい茂る高い所となる。

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ4: ミカ書 第4章

ミカ4:1 末の日になって、主の家の山はもろもろの山のかしらとして堅く立てられ、もろもろの峰よりも高くあげられ、もろもろの民はこれに流れくる。

ミカ4:2 多くの国民は来て言う、“さあ、われわれは主の山に登り、ヤコブの神の家に行こう。彼はその満ちをわれわれに教え、われわれはその道に歩もう”と。律法はシオンから出、主の言葉はエルサレムから出るからである。

ミカ4:3 彼は多くの民の間をさばき、遠い所まで強い国々のために仲裁される。そこで彼らはずぎを打ちかえて、すきとし、そのやりを打ちかえて、かまとし、国は国にむかつてづぎをあげず、再び戦いのことを学ばない。

ミカ4:4 彼らは皆そのぶどうの木の下に座し、そのいちじくの木の下にいる。彼らを恐れさせる者はない。これは万軍の主がその口で語られたことである。

ミカ4:5 すべての民はおのおのその神の名によって歩む。しかしわれわれはわれわれの神、主の名によって、とこしえに歩む。

ミカ4:6 主は言われる、その日には、わたしはかの足のなえた者を集め、またかの追いやられた者およびわたしが苦しめた者を集め、

ミカ4:7 その足のなえた者を残れる民とし、遠く追いやられた者を強い国民とする。主はシオンの山で、今よりとこしえに彼らを治められる。

ミカ4:8 羊の群れのやぐら、シオンの娘の山よ、以前の主権はあなたに帰ってくる。すなわちエルサレムの娘の国は、あなたに帰ってくる。

ミカ4:9 今あなたは何ゆえわめき叫ぶのか、あなたのうちに王がないのか。あなたの相談相手は絶えはて、産婦のように激しい痛みがあなたを捕えたのか。

ミカ4:10 シオンの娘よ、産婦のように苦しんでうめけ。あなたは今、町を出て野にやどり、バビロンに行かなければならない。その所であなたは救われる。主はその所であなたを敵の手からあがなわれる。

ミカ4:11 いま多くの国民はあなたに逆らい、集まって言う、"どうかシオンが汚されるように、われわれの目がシオンを見てあざ笑うように"と。

ミカ4:12 しかし彼らは主の思いを知らず、またその契約を悟らない。すなわち主が麦束を打ち場に集めるように、彼らを集められることを悟らない。

ミカ4:13 シオンの娘よ、立って打ちこなせ。わたしはあなたの角を鉄となし、あなたのひずめを青銅としよう。あなたは多くの民を打ち砕き、彼らのぶんどり物を主にささげ、彼らの富を全地の主にささげる。

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ5: ミカ書 第5章

ミカ5:1 今あなたは壁でとりまかれている。敵はわれわれを攻め囲みつえをもってイスラエルのつかさのほおを撃つ。

ミカ5:2 しかしベツレヘムエフラタよ、あなたはユダの氏族のうちで小さい者だが、イスラエルを治める者があなたのうちからわたしのために出る。その出るのは昔から、いにしえの日からである。

ミカ5:3 それゆえ、産婦の産みおとす時まで、主は彼らを渡しおかれる。その後その兄弟たちの残れる者は イスラエルお子らのもとに帰る。

ミカ5:4 彼は主の力により、その神、主の名の威光により、立ってその群れを養い、彼らを安らかにおられる。今、彼は大いなる者となって、地の果にまで及ぶからである。

ミカ5:5 これは平和である。アッスリヤびとがわれわれの国に来て、われわれの土地を踏むとき、7人の牧者を起し、8人の君を起してこれに当らせる。

ミカ5:6 彼らはつぎをもってアッスリヤの地を治め、ぬきみのつぎをもってニムロデの地を治める。アッスリヤびとがわれわれの地に来て、われわれの境を踏み荒すとき、彼らはアッスリヤびとから、われわれを救う。

ミカ5:7 その時ヤコブの残れる者は多くの民の中にあること、人によらず、また人の子らを待たずに主からくだる露のごとく、青草の上に降る夕立のようである。

ミカ5:8 またヤコブの残れる者が国々の中におり、多くの民の中にいること、林の獣の中のししのごとく、羊の群れの中の若いししのようなものである。それが過ぎるときは踏み、かつ裂いて救う者はない。

ミカ5:9 あなたの手はもろもろのあだの上にあげられ、あなたの敵はことごとく断たれる。

ミカ5:10 主は言われる、その日には、わたしはあなたのうちから馬を絶やし、戦車をこわし、

ミカ5:11 あなたの国の町々を絶やし、あなたの城をことごとくくつがえす。

ミカ5:12 またあなたの手から魔術を絶やす。あなたのうちには占い師がないようになる。

ミカ5:13 またあなたのうちから彫像および石の柱を絶やす。あなたは重ねて手で作った者を拝むことはない。

ミカ5:14 またあなたのうちからアシラ像を抜き倒し、あなたの町々を滅ぼす。

ミカ5:15 そしてわたしは怒りと憤りをもってその聞き従わないもろもろの国民に復習する。

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ***:

ミカ6: ミカ書 第6章

ミカ6:1 あなたがたは主の言われることを聞き、立ちあがって、もろもろの山の前に訴えをのべ、もろもろの丘にあなたの声を聞かせよ。

ミカ6:2 もろもろの山よ、地の変ることなき基よ、主の言い争いを聞け。主はその民と言い争い、イスラエルと論争されるからである。

ミカ6:3 “わが民よ、わたしはあなたに何をなしたか、何によってあなたを疲れさせたか、わたしに答えよ。

ミカ6:4 わたしはエジプトの国からあなたを導きのぼり、奴隷の家からあなたをあがない出し、モーセ、アロンおよびミリアムをつかわして、あなたに先だたせた。

ミカ6:5 わが民よ、モアブの王バラクがたくらんだ事、ベオルの子バラムが彼に答えた事、シッテムがギルガルに至るまでに起った事どもを思い起せ。そうすれば、あなたは主の正義のみわざを知るであろう”。

ミカ6:6 “わたしは何をもって主のみ前に行き、高い神を拝すべきか。燔祭および当歳の子牛をもってそのみ前に行くべきか。

ミカ6:7 主は数千の雄羊、万流の油を喜ばれるだろうか。わがとがのためにわが長子をささぐべきか。わが魂の罪のためにわが身の子をささぐべきか”。

ミカ6:8 人よ、彼はさきによい事のなんであるかをあなたに告げられた。主のあなたに求められることは、ただ公義をおこない、いつくしみを愛し、へりくだってあなたの神と共に歩むことではないか。

ミカ6:9 主の声が町にむかって呼ばわる――全き知恵はあなたの名を恐れることである――”部族および町の会衆よ、聞け。

ミカ6:10 わたしは悪人の家にある不義の財宝、のろうべき不正な枴を忘れ得ようか。

ミカ6:11 不正なばかりを用い、偽りのおもしろい袋を用いる人をわたしは罪なしとするだろうか。

ミカ6:12 あなたのうちの富める人は暴虐で満ち、あなたの住民は偽りを言い、その下は口で欺くことをなす。

ミカ6:13 それゆえ、わたしはあなたを撃ちあなたをその罪のために滅ぼすことを始めた。

ミカ6:14 あなたは食べても、飽くことがなく、あなたの腹はいつもひもじい。あなたは移しても、救うことができない。あなたが救う者を、わたしはつるぎにわたす。

ミカ6:15 あなたは種をまいても、刈ることがなく、オリーブの実を踏んでも、その身に油を塗ることがなく、ぶどうを踏んでも、その酒を飲むことがない。

ミカ6:16 あなたはオムリの定めを守り、アハブの家のすべてのわざをおこない、彼らの計りごとに従って歩んだ。これはわたしがあなたを荒し、その住民を笑い物とするためである。あなたがたは民のはずかしめを負わねばならぬ”。

ミカ***:

ミカ7: ミカ書 第7章

ミカ7:1 わざわいなるかな、わたしは夏のくだものを集める時のように、ぶどうの収穫の残りを集める時のようになった。食らうべきぶどうはなく、わが心の好む初なるのいちひくもない。

ミカ7:2 神を敬う人は地に絶え、人のうちに正しい者はない。みな血を流そうと待ち伏せし、おのおの網をもってその兄弟を捕える。

ミカ7:3 両手は悪い事をしようと努めてやまない。つかさと裁判官はまいないを求め、大いなる人はその心の悪い欲望を言いあらわし、こうして彼らはその悪を仕組む。

ミカ7:4 彼らの最もよい者もいばらのごとく、最も正しい者もいばらのいけがきのようだ。彼らの見張りとの日、すなわち彼らの刑罰の日が来る。いまや彼らの混乱が近い。

ミカ7:5 あなたがたは隣り日とを信じてはならない。友人をたのんではならない。あなたのふとくに寝る者にも、あなたの口の戸を守れ。

ミカ7:6 むすこは父をいやしめ、娘はその母にそむき、嫁はそのしゅうとめにそむく。人の敵はその家の者である。

ミカ7:7 しかし、わたしは主を仰ぎ見、わが救の神を待つ。わが神はわたしの願いを聞かれる。

ミカ7:8 わが敵よ、わたしについて喜ぶな。たといわたしが倒れるとも起きあがる。たといわたしが暗やみの中にならぬとも、主はわが光となられる。

ミカ7:9 主はわが訴えを取りあげ、わたしのためにさばきを行われるまで、わたしは主の怒りを負わなければならない。主に対して罪を犯したからである。主はわたしを光に導き出してください。わたしは主の正義を見るであろう。

ミカ7:10 その時“あなたの神、主はどこにいるか”とわたしに言ったわが敵は、これを見て恥をこもり、わが目は彼を見てあざ笑う。彼は街路の泥のように踏みつけられる。

ミカ7:11 あなたの城壁を築く日が来る。その日には国境が遠く広がる。

ミカ7:12 その日にはアッスリヤからエジプトまで、エジプトからユフラテ川まで、海から海まで、山から山まで、人々はあなたに来る。

ミカ7:13 しかしかの地はその住民のゆえに、そのおこないの実によって荒れはてる。

ミカ7:14 どうか、あなたのつえをもってあなたの民、すなわち園の仲野林にひとりおるあなたの嗣業の羊を牧し、いにしえの日のようにバシヤンとギレアデで、彼らを養ってください。

ミカ7:15 あなたがエジプトの国を出た時のように、わたしはもろもろの不思議な事を彼らに示す。

ミカ7:16 国々の民は見て、そのすべての力を恥じ、その手を口にあて、その耳は聞こえぬ耳となる。

ミカ7:17 彼らはへびのように、地に這うもののようにちりをなめ、震えながらその城から出、おののきつつ、われわれの神、主に近づいてきて、あなたのために恐れる。

ミカ7:18 だれかあなたのように不義をゆるし、その嗣業の残れる者のためにとがを見過ごされる神があろうか。神はいつくしみを喜ばれるので、その怒りをながく保たず、

ミカ7:19 再びわれわれをあわれみ、われわれの不義を足で踏みつけられる。あなたはわれわれのもろもろの罪を海の深みに投げ入れ、

ミカ7:20 昔からわれわれの先祖たちに誓われたように、真実をヤコブに示し、いつくしみをアブラハムに示される。